

令和4年4月28日  
林 野 庁  
近畿中国森林管理局  
奈良森林管理事務所

## 令和4年度 奈良森林管理事務所

### 重点取組事項の公表について

奈良森林管理事務所では、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献、国民の森林としての管理経営に向けて、国有林が有する組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者との連携を図りつつ、木材の安定供給や林業の低コスト化などの地域における林業発展への寄与、地域住民の安全安心な暮らしの確保に向けた災害防止対策など、各般の取組について積極的に進めてまいります。

このたび、令和4年度の重点取組事項に関する資料をとりまとめたので、公表します。

なお、近畿中国森林管理局の重点取組事項は局ホームページに掲載しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/kiaku/220415.html>



**【問い合わせ先】**

林野庁近畿中国森林管理局  
奈良森林管理事務所  
担当者：調整官 前田  
〒630-8035  
奈良市赤膚町1143-20  
電話：050-3160-6150  
FAX：0742-53-1502



林野庁



# 令和4年度 奈良森林管理事務所重点取組

## ～国民の森林「国有林」～

国民の森林・国有林

奈良森林管理事務所は、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献、国民の森林としての管理経営に向けて、国有林の有する組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者との連携を図りつつ、木材の安定供給や林業の低コスト化などの地域における林業発展への寄与、地域住民の安全安心な暮らしの確保に向けた災害防止対策など、各般の取組について積極的に進めてまいります。

### 1 公益重視の管理経営の一層の推進

国土の保全、地球温暖化防止及び生物多様性の保全等公益的機能の維持増進を旨として、森林整備事業や治山事業の計画的かつ効率的な実施、保護林制度による原始的な森林生態系の保全・管理など、公益林としての管理経営を適切に推進します。

#### ○治山対策の推進

◆国民が安心して暮らせる社会の実現に向けて、効率的かつ効果的な治山対策に取り組みます。

特に、平成23年の紀伊半島大水害からの早期復旧に向けて、奈良県からの要請を踏まえ、地域の安全・安心を確保するため、令和4年度においては、十津川村、五條市、天川村において、10箇所の民有林直轄治山事業を予定しており、着実な事業実施を推進します。



▲【R4.1】山腹工事施工状況：坪内工区 坪内（天川村）

#### ○間伐等森林整備の着実な実施

◆地球温暖化対策に資するため、引き続き、間伐等の森林整備を着実に実施するとともに、国土の保全、水源の涵養、生活環境の保全等に資するため、本数調整伐等保安林の整備を適切に実施します。

令和4年度については、桧股国有林（野迫川村）、塔ノ谷国有林（下北山村）において、誘導伐、保育間伐活用型（存置型含む）を82.13ha予定しており、効果的な森林整備の実現、林業事業体の育成等に取り組みます。



▲【R3】本数調整伐及び丸太筋工（金剛山国有林：御所市）

### 2 国民の森林としての管理経営

国有林野を「国民の森林(もり)」として位置づけ、林業の成長産業化に向けた貢献等の新たな政策課題を踏まえつつ、国民に関かれた管理経営を推進します。

多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識・技術を備えた人材等を活用しつつ、地域からの要請に機動的・弾力的に対応し、森林とのふれあいの場の提供、木の文化継承へ貢献するための取組、森林環境教育等を推進します。

また、優れた自然景観を有する「レクリエーションの森」を活用した地域振興にも積極的に取り組みます。

#### ○木の文化継承への貢献

◆歴史的建造物用資材の供給に寄与するため、地獄谷国有林・野山国有林に「古事の森」を設定し、木の文化を支える森林づくりを推進しています。

「古事の森育成協議会」主催による森林と木の文化に関連したイベントを通じた普及啓発や、祭祀用資材の供給など、木の文化の継承に貢献する活動に取り組みます。



▲【R元春日奥山古事の森シンポジウム】



▲【R元円窓亭(まるまどてい)の見学】

## ○大亀谷国有林を地域の森に！

◆大亀谷国有林周辺の住民やボランティア団体等で構成する「大亀谷国有林管理運営協議会」において、地域のニーズ等を把握のうえ、森林整備の方法や活用の方策等を検討し、地域の要請に応じた森づくりや地域貢献活動を実施します。

## ○森林環境教育の推進

◆大亀谷国有林では、「ふれあいの森」、「遊々の森」を設定し、ボランティア活動による「森林整備」や連携による「森のようちえん」などを行っています。令和4年度も引き続き、教育機関等からの要請に基づく講師派遣、国有林のフィールドを活用した森林環境教育などに取り組みます。



▲R元【森の幼稚園ひかり森林イベント】



▲【R元親子木工教室】

## ○レクリエーションの森を活用した地域振興

◆林野庁では、新たな国有林野の観光資源としての活用方策として、全国の「レクリエーションの森」のうち、魅力的な自然景観等を有し、特にみなさまに訪れていただきたい森を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国93箇所を選定し、重点的に情報発信や環境整備等に取り組むこととしています。

当所においても、高取山風景林と大和三山風景林の2箇所が選定され、協議会を始めとする関係機関と連携した歩道等の施設整備などに取り組みます。

▼令和3年度 レク森看板の新設(香久山国有林:檀原市)



◀【旧看板の撤去】

▶【新規看板の設置】▶



## 3 林業の成長産業化に向けた貢献

林業の成長産業化への貢献に向けて、国有林の組織、技術力、資源を活かしつつ、林業における新たな低コスト技術等実証及び普及、民有林と連携した森林整備や森林・林業技術者等の育成、林産物の安定供給などを通じて、民有林経営に対する支援等を積極的に取り組みます。

## ○林業の成長産業化に向けた取組

◆我が国の林業特有の厳しい地形条件や担い手不足等の課題に対応し、森林施業の効率化・省力化や生産性向上を図るため、ICT等の先端技術の活用が急務となっています。また、主伐・再造林の推進に際し、二ホンシカによる森林被害拡大がネックとなっています。このような課題に対応するため、「ICTによる森林管理とシカ被害対策」に関する現地検討会の開催などに取り組みます。



▲R3・12・9現地検討会（地上レーザーについての説明）



▲R3・12・9現地検討会（小林式誘引捕獲法の説明）

## ○各種教育機関との連携

◆大学等各種教育機関から要請に応じたインターンシップの受け入れなどを通じて、地域における林業関係者の育成に向けて、教育機関と連携した取組を進めてまいります。



◀【インターンシップ受入】  
(高取山国有林: 治山工事箇所)